

北海老行政区 ふれあい懇談会 (第1回)

開催日 平成 26 年 5 月 18 日

14 時 00 分から

開催地 北海老公会堂

参加者 行政区 46 名

【質疑】

質問 1 : 農地除染について、田んぼにひいてくる水に問題はないのか。ダムの下に溜まっている泥の処理はどうするのか。

回答 1 : 県と国が溜池の除染、泥の除去について、市町村に説明会という形で始まっています。具体的に溜池やダムの除去の工法が決まってから、皆さんにお知らせをして実施して参ります。ただし、数が全部で300近くありますので、線量の高い方から溜池の泥の除去、封じ込めなどを実施することになります。

質問 2 : 3年間も避難生活をして仮設住宅等を転々としている状況の中で、子供たちの学力強化はどのようなことをするのか。

回答 2 : 学習塾等と連携した学力強化推進事業として、昨年は中学3年生だけを対象に実施しました。今年は拡大して中学2年生、3年生を対象に実施します。中学3年生については、7月から1月の月2回程度、夏休み期間中についても実施します。中学2年生については、10月から3月の月2回程度実施します。

質問 3 : 子どもの健康を守る安全・安心対策とはどのようなことをするのか。

回答 3 : 準備中となっていますが、子供たちの外出、それから野外活動等を控えていますので、体力低下や一部肥満傾向にあることから、医師やスポーツトレーナー等を派遣して、それらを解消するための講話や実技講演会を実施することになっていますので、できるだけ早期に進めて参ります。

質問 4 : 小学校の給食費の無料化はできないのか。

回答 4 : 幼稚園や保育園の無料化については、公約で申し上げたとおり3月議会に上程し、議会から了解を得ましたので、4月1日から無料化の措置を

とっています。ご指摘のありました小学校の給食の無料化については、検討課題とさせていただきます。

質問5： 私たちが生業としている農業に関して、ここの溜池も5千3百から5千4百ベクレルある。5千前後が高いのか低いのかといわれても困るが、我々からすれば高いと感じているので、不安に思っているところを解消していただきたい。

回答5： 国や県が、どういう方法で溜池の除染をするのか、はっきりしていません。具体的には、溜池の底の土を全部バキュームで吸い上げて格納する方法や泥の水が出ないように取水口にフィルタを着けて田んぼに影響を与えない方法の検証もしています。具体的になりましたら、除染に関する説明会を開催し、管理される皆様と十分に相談をして取り組んで参ります。

質問6： 昨日、八沢小学校の運動会があった。西風が大変強く子供たちがあの砂埃をまともに吸っている。除染して0.09くらいだが、これが安心できるのかどうか。グラウンドの芝張りの話があったが、学校を最優先にして芝を張ってもらいたい。

回答6： これは、全て市の自主財源で実施していますので、その措置ができるかどうかです。今年についても幼稚園や保育園については、全部実施する措置をとっています。今後、国が市の要望に応じて措置していただけるのであれば、積極的に活用して参ります。

質問7： 内部被曝や外部被曝がだいぶ少なくなっているようだが、甲状腺の値が高いという人が何名かいると聞いたが、どのような措置をしているのか。

回答7： 甲状腺については、県とタイアップして県民健康管理調査として計画的に検査を進めています。これまでの経過から3年で、甲状腺による癌が発病するといったことは考えられません。今のところ、心配はないだろうと専門家の評価です。県民健康管理調査については、甲状腺に限らず並行して検査体制を継続して参ります。

質問8： 漫画や報道にあったが、本当に鼻血が出るようなことはあるのか。

回答8： 放射線健康対策委員の先生方に確認しましたが、全くないということですよ。今のところ4人の先生方に確認いただきましたが、考えられないこ

とを本当のような形で言われては困るので、きちんとした対応を教育の面でも先生方にご説明していただく体制を整えて参ります。

質問 9 : 双葉の町民が移住してくると聞いたが、市の考えについて聞きたい。

回答 9 : 双葉地方 20 キロ圏内の調査をしています。南相馬市には約 900 世帯の人が住みたい意向を示しています。その 900 戸について、原町区に 800 戸、その他に 50 戸から 100 戸の間で鹿島区にも作る調整をしていますので、今後状況を見ながら進めて参ります。

質問 10 : 八沢地区に児童館が設置されるのは大歓迎だが、どのようなものか。

回答 10 : 児童クラブの件について、支援団体が南相馬に設置したいと申し出がありました。子供たちの元気な姿が見えれば、地域も安心や元気が出ると思いますので、全力を挙げて子供たちの支援に努力して参ります。

質問 11 : 環境創造センターはどこにできるのか。また、どんな仕事の内容か。

回答 11 : 原町区のテクノアカデミー浜向側の一部を利用して建設する予定です。環境創造センターは、簡単に言うと原発事故で環境に様々な悪影響が出ているところを回復させるため、県が主体となり、例えば土壌をどうやったら回復できるのか、どのような除染が効果的かなどを研究する施設です。

質問 12 : 市町村職員の 15% がうつ病になっている記事を読んだ。このような状況の中で一生懸命やっている職員に対し、市は、どのような手段を考えているか。

回答 12 : 家族と一緒に居られない苦しみは、皆一緒です。そういうことを理解していただければ、職員も助かる人たちがいます。職員の精神的なケアについては、カウンセリングや精神的なコンサルを頼みながら、良い職場環境で働けるよう努力しています。住民も職員も一緒になって、ひとつひとつ解決していく方向進めば、やる気も出ると思いますので、ご協力をお願いいたします。